

# 2019年度青少年ネット利用環境研究 タスクフォースの活動

一般財団法人情報法制研究所 専務理事  
 一般財団法人 LINE みらい財団 代表理事・専務  
 LINE 株式会社 執行役員（公共政策・CSR 担当）  
 一般財団法人 全国 SNS カウンセリング協議会 代表理事・理事長  
 AI 防災協議会 理事長  
**江口 清貴**

一般財団法人情報法制研究所「青少年保護研究タスクフォース」における 2019 年度の活動は、昨年に続き主に「青少年ネット利用環境整備協議会」（以下、協議会）との連携を通じた、コミュニティサイトに起因する青少年の被害防止や、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための啓発イベントを中心に実施した。

警察庁の発表（2020 年 3 月）では、SNS 利用を介した児童の福祉犯被害（児童ポルノ、児童買春、青少年保護条例違反など）数は増え続けており、2019 年には被害児童が初めて 2,000 人の大台を超える状況となっている。

本活動では協議会各社による安全利用対策だけではなく、児童や保護者を啓発するために、彼らを指導する啓発講師の育成や知見共有に力を入れており、具体的な活動として「情報モラル講師知見共有研修会」を実施している。

また、情報モラル講師知見共有研修会に加え、高校生自ら SNS 利用による被害を減らすためのアイデアを議論してもらうワークショップを開催し、講師知見共有研修会と連携した情報共有をはかっている。

## 情報モラル講師知見共有研修会

今年度は、第 4 回（2019 年 2 月）、第 5 回（2019 年 8 月）、第 6 回（2019 年 11 月）を開催し、各回 30～60 名の情報モラル講師を中心とする関係者が参



加した。

各開催では、SNS 利用による福祉犯被害データや被害に至る経緯、状況、SNS サービスごとに起きている特徴などを実態として共有したうえで、参加講師が日ごろの取組みや指導の課題等をワークショップ形式で相互に共有し、増え続ける青少年の SNS 利用による被害への対応策を話し合った。

これまでさまざまな講師等による SNS やインターネット利用の啓発活動を通して、青少年やその保護者等は SNS 利用で被害にあふ事例の共有や、それらを防ぐさまざまな対処法を学んできた。また、青少年は SNS の普及や利用経験を通して、全体的に経験値やリテラシーが年々高まっていると想定される。

しかしながら、福祉犯被害数が減らずに増え続ける背景には、青少年が獲得した経験値を上回る悪意ある大人等による巧妙な手口や、経験の少ない小中学生をねらうことで被害数が増えていることなどがある。喫緊の課題として SNS 利用が広がる小中学生が獲得すべきリテラシーを高めていく必要がある。これからの啓発活動は SNS 利用の低年齢化に対応していく必要性が

あることをあらためて講師間で共有する機会となった。

SNS 利用開始とその被害は低年齢化する傾向にある。継続して関係者が対策を議論し、より効果的で適切な啓発を推進することが求められる。

## 高校生自らが SNS 等に起因する事犯の被害を減らすために考えるワークショップ

2019 年 8 月には情報モラル講師知見共有研修会と連携するイベントとして、「高校生自らが SNS 等に起因する事犯の被害を減らすために考えるワークショップ」を開催した。

本ワークショップは、SNS を通じた自画撮りや出会い等による犯罪を未然に防いでいくために、高校生自身が議論し対策を考えてもらい、参加者相互の経験や意見を通じてリテラシーを高めていく場として企画した。

いまの高校生は SNS を大人になってから利用した世代とは異なり、リスクを最小限にして SNS で知り合った人と出会うことに肯定的な意見が少なくない。ワークショップではフィルタリングなどの仕組みとリテラシー、倫理観等の組み合わせで SNS 利用が豊かな生活に資するための使い方を考えるといった積極的な議論がなされた。

## 2019 年度の総括

2019 年度の「情報モラル講師知見共有研修会」及び「高校生自らが SNS 等に起因する事犯の被害を減らすために考えるワークショップ」の開催は、これまでのさまざまな啓発活動や青少年の経験値の上昇にも関わらず青少年の福祉被害が増え続ける状況について、データや実例、高校生の意見等を通じて、参加者があらためてその要因を知り、議論を深めることができた。



一般財団法人情報法制研究所 専務理事  
一般財団法人 LINE みらい財団 代表理事・専務  
LINE 株式会社 執行役員 ( 公共政策・CSR 担当 )  
一般財団法人 全国 SNS カウンセリング協議会 代表理事・理事長  
AI 防災協議会 理事長

江口 清貴 ( えぐち きよたか )

オンラインゲーム運営会社等 CFO として、株式公開の実務を経て 2012 年から LINE へ。LINE の政策渉外と CSR の責任者として、青少年のネット利用環境整備に関する調査研究および、情報モラル・リテラシー教育活動に注力し、子供向け情報啓発教育教材の作成等、より良いインターネット利用環境整備に従事。その他、業界団体での各種自主規制ガイドライン策定や啓発にも従事。